

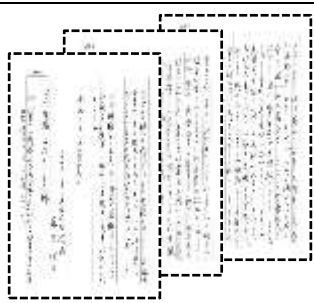
会報だより

藤井健三会長様より

お手紙頂く!!

「日本スリランカ友の会関西」の藤井会長様から「リサイクルメガネ収集活動」に対して丁寧なお手紙を頂きました。

詳細は、「VG 槻輪のホームページ」で紹介しますので、ご参照下さい。



藤井健三会長様のお手紙

要約しますと、「収集したメガネは、日本でリフレッシュしてスリランカに寄贈していますが、今まで永い間お世話になった「三城さん」の協力が得られなくなり一時作業を中断していました。



日本スリランカ友の会関西
会報第8号 5頁
リフレッシュ眼鏡寄贈事業に
新たな担い手「アールグラス」

今回新たに大阪市西区江戸堀の「RIGLASS」さんが善意でメガネのリフレッシュ作業をして頂く事になり、今年5月から今までどおり活動の再開が出来る事になった。会員の皆様によりしくお伝えください。

この件は、私達はお聞きしていたので活動をスロウダウンして継続して行きました。この11月末時点で皆様から提供して頂いたメガネを整備して「日本スリランカ友の会関西」へお送りした次第です。

VG 槻輪は、平成27年に日本スリランカ友の会さんが、メガネのリサイクル活動をしておられるのを知り活動を始め平成28年3月に第1回目の発送をしました。

VG 槻輪の担当者には、集めましたメガネを消毒等整備し箱詰して「日本スリランカ友の会関西」へ郵送して頂いています。

「VG 槻輪」としても会報やホームページでこの活動を公開し市民の方の協力も得られるようになり、今後は地味な活動ですが、皆様のご協力をお願い致します。

記：大岡成一

神峯山寺道もリメイク

小春日和の12月1日朝高槻北部の神峯山寺への山道を散策しました。原立石より森側の小道を行くと何人もの人がお参りも終えたか、即売の野菜を持って、楽し気に降りてこられる。



神峯山寺山道より
新名神高速道路を見る

その道がなんと整備された道路を渡ることになっていて驚いた。そういえば第二名神高速道路が出る間、バス道路から田んぼの中を資材運搬仮道路となっていて、常にガードマンが立っていた所だ。その仮道路が舗装され第二名神高速道路高槻インターチェンジに繋がっている。やはり元の田園風景に戻らなかつたかとちよつと残念な気がした。牛地蔵から第一駐車場までは昔のままだった。が突如第二名神高速道路の底部と綺麗に整備された木道が眼に入る。



第一駐車場の脇道より
高速道路を見上げる

ゴミを拾って歩いておられるボランティア代表者にきくと、この木道は神峯山寺山門に行きつくまで返事で安心して脇道にそれた。頭の上に高速道路のコンクリート底部を見上げるようになった。

6〜7年前第二名神高速道路の原のトンネル工事建築現場を見学したが、その時まさか自分がここを通るとはおもっていなかった。それから西方面へのドライブは欠かせない道になった。

神峯山寺は774年創建された毘沙門天を本尊とする由緒あるお寺で、比叡山や葛城山などの七霊山の一つです。本堂前の名札板には500回参拝記念の方々の名札が幾枚も貼ってある。同行した友人もご夫婦で100回にその名を連ねている。紅葉の有名なお寺で

もあるので観光客も多く、入山料もとられるが、私達の行った日は無料であったがまだまだ紅葉は見ものであった。ご利益も変わらぬものと信じ、お賽銭を投げ入れた。帰りの道は自動車道をおりてきたが、途中にあった一軒屋が取り払われ、第二名神高速道路を上から見るとスポットに変わっていた。以前は葛城山遥拝所でもあった。



神峯山境内のもみじ

神峯山寺とは呼び名もよし、距離もよし、自然環境もよし、リメイクされた風景もよし。お正月には神峯山寺やその上の本山寺、安岡寺の火渡りや護摩壇が焚かれる神事がおこなわれ、甘酒がふるまわれるが、来年の正月は中止であろうか。一層コロナ禍を護摩壇の火でお祓いしてもらいたいものだ。

記：写真：上村サト子



雑記帳

丑年の年賀状を送る人が増えたようです。年賀ハガキの販売が郵便局でスタートしたが、新型コロナウイルスの感染が急激に拡大する中で「丑年の年賀状を送る人が増えてた」という調査結果を、日本の調査会社が明らかにした。

他方、年賀状アプリの総ダウンロード数が急拡大傾向にあるとの事も公表されています。

直接会えないからこそ、年賀状で想いを届けたいと考える方が急増加したと思われまます。

PCスプリングクラブ辻丸先生の、ワードの各種機能を使い、オリジナルの作品の一部を紹介致します。



辻丸先生のワードで作った
オリジナル作品

記：編集部